

市民意識調査アンケート結果

企画財政課企画経営室 ☎(25)1101

市では、将来都市像を「真珠のようにきらり輝く鳥羽」とし、実現するため平成23年度から第5次鳥羽市総合計画における前期基本計画に取り組んでおり、現在、平成28年度から始まる後期基本計画を市内の有識者のみなさんや、公募委員のみなさんからなる総合計画審議会を組織し、審議していただいています。

この後期基本計画を策定するにあたり、市民のみなさんから施策目標の重要度や満足度をアンケートにより伺いました。このアンケート調査結果をもとに今後の施策および事業に取り組んでいきます。

調査対象

平成27年7月に市内在住の18歳以上の市民2,000人

重要度が高かった施策

- 1位 安全で安定した水を供給する (平成25年は4位)
- 2位 いざという時の受診体制を整える (平成25年は3位)
- 3位 災害から市民生活をまもる (平成25年は2位)
- 4位 消防・救急体制を充実する (平成25年は1位)
- 5位 若者の地元での就職や起業を支える

重要度が低かった施策

- 1位 協働のための仕組みをつくる
- 2位 市民・来訪者が歴史文化を楽しみ憩える場をつくる (平成25年は2位)
- 3位 低炭素社会への歩みを進め、地域環境をまもる
※重要と考える施策は、平成25年度でのアンケート結果と比べて大きく変化ができました。

満足度の高かった施策

- 1位 安全で安定した水を供給する (平成25年は1位)
- 2位 健康づくりに対する意識を高める (平成25年は2位)
- 3位 消防・救急体制を充実する (平成25年は3位)
- 4位 地域ぐるみで子どもたちを育てる (平成25年は4位)
- 5位 資源循環型社会をつくる (平成25年は5位)

満足度の低かった施策

- 1位 若者の地元での就職や起業を支える (平成25年は1位)
- 2位 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる (平成25年は2位)
- 3位 地域産業の経営安定を図る (平成25年は3位)
※満足度に関する施策は、平成25年度でのアンケート結果と比べて上位の施策と下位の施策は変わっていません。



●鳥羽への愛着
全体で「持っている」かたは50.8%、「どちらかといえば持っている」が34.6%となり、年齢世代が上がると愛着を持たれるかたが高くなります。また居住地区別では、長岡地区が愛着を持っているかたが高い傾向にあります。

●鳥羽の住みやすさ
24.6%が「住みやすい」43.7%が「まあ住みやすい」と答え、21.4%が「やや住みにくい」、9.4%が「住みにくい」と答えています。

地区別では、鏡浦地区が住みやすいと答えているかたが高い傾向にあります。

●今後の定住について
「ずっと住んでいたい」は60.8%と高く、「しばらくは住むつもり」は24.1%合わせて84.9%となり、平成25年度の調査と比べ10%近く伸びています。

年齢が上がるにつれ定住傾向は高くなり、「市外に移りたい」といった傾向は20歳代、30歳代に高い傾向がみられ、主な理由としては、「買いたい物が不便である」「交通の便が悪い」となっています。

●未婚者の意識
36%のかたが「出会いが少なく、適当な相手にめぐり合えない」としており、26.7%のかたが「経済的に不安がある」と答えています。

●市議会に対する市民の声
市民の声が市議会に「反映されている」と思うかたは、11.4%、「反映されていないと思う」かたは44.2%、「わからない」かたは35.8%と答えています。